

(1) 保存地区の概要

地区名	橿原市今井町
種別	寺内町・在郷町
面積	約17.4ヘクタール
選定年月日	平成5年12月8日
特徴	<p>橿原市今井町重要伝統的建造物群保存地区は、奈良盆地南部に位置し、中世末期に寺内町として成立し、江戸中期までに南大和地方における商業の中心地として発展した。旧環濠で囲まれた保存地区には、中世末期の寺内町形成から近世の在郷町へと発展する市街地形態が良く残っている。近世から近代の質の高いかつ優れた意匠の町家を中心に、重厚で高密度の歴史的市街地となっている。</p>
選定による効果	<p>橿原市では平成6年度より、国及び奈良県の補助を得て修理・修景事業等を、毎年度実施しており選定されたことで歴史的町並み景観の保全及び住環境等の向上につながった。また、地区内には空き家となっていた保存状態のよくない未修理事業が多くあったが、建物の改修に際し補助金が支出されるため、移住者や出店数が増え空き家がなくなりつつある。また、近年においては産学民官が一体となり、空家の利活用における様々な取り組みを実施している。</p>

(2) 保存地区のあゆみ

昭和30年前後(1955)	東京大学による「今西家」の調査後、今井町を調査
昭和32年度(1957)	今西家が重要文化財に指定される
昭和47年度(1972)	6軒の民家(旧米谷家、高木家、音村家、中橋家、豊田家、上田家)が重要文化財に指定される(河合家は昭和51年に指定)
昭和49年度(1974)	「町並み保存連盟(有松・妻籠・今井)」が結成
昭和52年度(1977)	文化庁・建設省のまちなみ合同調査(~56年度)
昭和58年度(1983)	市独自の補助制度 「今井町町並み保存対策補助金制度」を創設
平成元年(1989)	「橿原市伝統的建造物群保存地区保存条例」の制定 伝統的保存物群保存地区保存審議会発足 歴史的地区環境整備街路事業(歴みち事業)に着手
平成5年(1993)	今井町伝統的建造物群保存地区の都市計画決定 『 今井町伝統的建造物群保存地区 』に選定
平成8年(1996)	今井町伝統的建造物群保存地区総合防災計画調査報告書を策定
平成15年(2004)	第26回全国町並みゼミ かしはら・今井大会開催
平成21年(2010)	今井町伝統的建造物群保存地区見直し調査報告書を策定
平成28年(2017)	伝統的建造物群保存地区担当者事務連絡会及び保護行政研修会(実践コース)開催

橿原市今井町(奈良県)

(3) 保存地区の保存と整備

●主な事業

- ・全国一を誇る伝統的建造物504件の保存修理
- ・歴史的町並みの景観の復活(老朽危険家屋の保存修理と活用)
- ・街なみ環境整備事業による無電柱化及び道路の美装化
- ・防災施設の整備
(防火水槽を備えた生活広場の整備、防災機能を有する旧環濠の復元的整備、地区内における消火栓及び消火器等の設置)
- ・生活環境における施設整備
老朽化した建造物を市が取得し、住民活動センター(モデルハウス)として整備(現在、貸館及び保存会の事務所として活用)
- ・地域活性化における施設整備
伝統的建造物である2戸1長屋(空き家)を活用し、放課後児童健全育成施設(学童クラブ)及び、保存修理事業におけるモデルケースとして公開活用施設を整備

●修理及び修景事業の事例



修景前



修景後

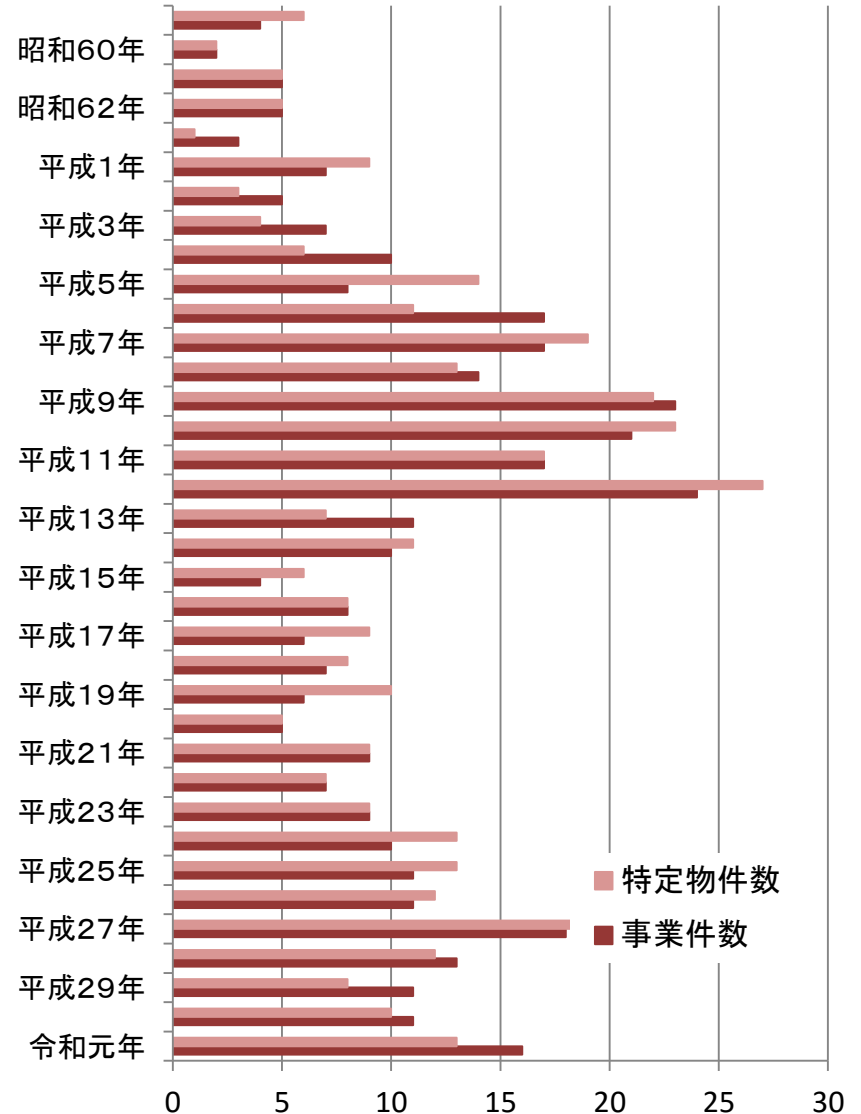


修理前



修理後

修理・修景事業件数(工作物・環境物件を含む)



橿原市今井町(奈良県)

●防災事業の事例



地区防災施設(防火水槽等を設置)



案内板の設置



環濠復元的整備イメージパース
今井西地区エリア(駐車場も確保)



防災機能を有する
旧環濠の復元的整備

(4) 保存地区の活用とまちづくり

●伝統的建造物の活用とまちづくり

- ・放課後児童健全育成施設(今井学童クラブ)としての活用。
町家での学童クラブ体験を通して、町家の良さを子供たちに理解してもらうことで、町並みを後世へと維持・継承する。
- ・奈良県立医科大学との共同事業により、空き家を「まちなか医療拠点」として活用。⇒(医学を基礎としたまちづくり MBT構想)
- ・まちなみ保存活動と一体になった継続的なまちづくりの活動支援。
- ・閑静な住宅地としての整備から、少子高齢化に伴う人口減少への打開策として、商業地ではなく「まちの活性化」を目指すまちづくり。
- ・文化財建造物等をコンサート、ワークショップ、トークイベント会場に使用してもらうことで、文化財の価値、歴史、文化を理解してもらう活動を実施。



放課後児童健全育成施設(今井学童クラブ)

●無電柱化及び道路の美装化



整備前



整備後



MBT構想の一例



医大ゲストハウス(奈良県立医科大学との共同事業)

檀原市今井町(奈良県)

(5) 住民等の取り組み

●「今井町並み散歩」

今井町町並み保存会が主催する、年に一度の「今井町並み散歩」では、来訪者の方々に伝建地区である今井町を知ってもらい交流することを目的として、重要文化財の無料公開、今井六斎市、茶行列、コンサート、展覧会等が行われており毎年、1万人以上の方々が参加され賑わっている。



今井六斎市



茶行列(仮装行列)

●「奈良・町家の芸術祭はならあと」

奈良県内の町家と芸術作品を組み合わせ、地域独特の文化や暮らしを受け継ぎ、再発見するイベントが行われている。重要文化財や空き家を活用し、展示スペース等として提供することで空き家対策の一翼を担っている。



芸術祭「はならあと」



ドラマの撮影

●住民さんの声

・NPO法人 今井まちなみ再生ネットワーク理事長

「今井町の伝統的な町並みや町家に魅力を感じ、お店や若い世代の住民が増え、地域コミュニティに活気が出てきた。昔ながらの地域住民との関係やコミュニティ意識が息づいている町に安心や情緒的な安らぎを求めている。今井町の魅力や価値を、日本だけでなく、世界に対しても積極的に発信し、住民が誇りを持てるまちづくり活動ができればと思っている」

・移住者Kさんの声

「今井町を知ったきっかけは、テレビCMで使われていたのを見て。挨拶や声かけといった、人と人とのつながりの温かさを感じることができるところが、魅力だと思う」



今井まちなみ再生ネットワーク理事長



移住者Kさん

まちなみ交流センター【華薨】(入館者数)

